

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様および職員の皆様 へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	感染制御チームおよび抗菌薬適正使用支援チームによる感染症対策・感染症診療支援活動に関する検討			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2030 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	山口大学医学部附属病院で、微生物の検出および抗菌薬の使用から感染制御チームおよび抗菌薬適正使用支援チームによりモニタリングされ、感染症対策および感染症診療を受けた方および当該患者の感染症診療に従事した職員			
④ 対象期間	2013 年 1 月 1 日 から 2027 年 12 月 31 日 追跡期間：2028 年 6 月 30 日まで			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	感染制御チーム・抗菌薬適正使用支援チーム・全診療科			
⑦ 研究責任者	氏名	崎山達矢	所属	薬剤部
⑧ 使用する情報等	識別コード、生年月、性別、入院・外来の別、診療した診療科、身長、体重、体表面積、原疾患、合併症、既往歴、現病歴、前治療、薬剤投与歴、血算（白血球数、白血球分画、赤血球、血小板、ヘモグロビン、ヘマトクリット）、血液生化学（総蛋白、アルブミン、グルコース、グリコアルブミン、ヘモグロビンA1c、尿酸、総ビリルビン、 γ -GTP、AST、ALT、ALP、CPK、BUN、クレアチニン、eGFR、クレアチニンクリアランス、Na、Ca、Mg、K、Cl、Fe、CRP）、シスタチンC、プロカルシトニン、 β -Dグルカン、血液ガス分析結果、薬物血中濃度、微生物検査結果、生理機能検査結果、放射線検査結果、病理検査結果、脈拍、血圧、呼吸、体温、GCS、感染症の予後転帰、感染制御チームや抗菌薬適正使用支援チームが院内を巡回して収集した微生物検査・血液検査・画像検査等の実施状況、抗微生物薬の選択・用法・用量、治療薬物モニタリングの実施状況、微生物検査等の治療方針への活用状況、感染対策の実施状況などの情報			
⑨ 研究の概要	近年、従来の抗微生物剤が効きにくくなる、あるいは効かなくなる薬剤耐性の問題が深刻化しており、感染症の治療において薬剤耐性が原因でお亡くなりになる方が増えてきています。この問題に対して我が国では、「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン」という行動計画を国策としてとり			

	まとめ、この計画に沿ってさまざまな取り組みを行っています。 薬剤耐性の問題は、不適切な抗菌薬の使用や不適切な感染症対策が大きな原因と考えられています。山口大学医学部附属病院では、抗菌薬の使用や感染症対策を管理するためのチーム（感染制御チームや抗菌薬適正使用支援チーム）を組織し、これらを適切に行えるようにするためのサポートを行うことで、薬剤耐性の問題に対して取り組んでいます。 この研究では、適切な微生物検査・血液検査・画像検査等の実施状況、抗微生物薬の選択・用法・用量の適切性、必要に応じた治療薬物モニタリングの実施、微生物検査等の治療方針への活用状況、感染対策の実施状況などの経時的情報に基づき、感染制御チームや抗菌薬適正使用支援チームが日常業務で得た情報をもとに、今後の業務改善、感染予防効果や治療効果の向上、薬剤耐性の抑制への貢献を目的として、感染症対策や感染症診療のサポートを行った影響について検討します。			
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2025 年 1 月 20 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	感染制御部運営費			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 薬剤部 担当者：崎山達矢			
	電話	0836-22-2669	FAX	0836-85-3751